

令和 3年度予算見積調書

課室名: 会計課

担当名: 予算係

内線: 2235

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B2	特殊詐欺総合対策の推進		一般会計	警察費	警察活動費	警察活動費	地域防犯活動推進費		
事業期間	平成27年度～	根拠法令	警察法第2条			宣言項目		SDGsゴール	16
						分野施策	020410 防犯対策の推進と捜査活動の強化	SDGsターゲット	16-4
1 事業の概要 増加する特殊詐欺へ対処するため、「抑止」と「検挙」の両輪での継続的な対策を図る。			5 事業説明						
(1) 被害水際防止作戦 637千円			(1) 事業説明						
(2) 被害防止コール作戦 106,913千円			ア 被害水際防止作戦 (特殊詐欺抑止対策員用資機材、通信回線料) 637千円						
(3) ネットワークカメラの拡充 13,035千円			イ 被害防止コール作戦 (特殊詐欺被害防止コールセンターの注意喚起架電及び警告架電に係る業務委託料) 106,913千円						
(4) デジタル情報解析の強化 3,036千円			ウ ネットワークカメラの拡充 (カメラリース代) 13,035千円						
(5) アジト等突入用資機材の整備 3,337千円			エ デジタル情報解析の強化 (情報解析用端末リース代) 3,036千円						
			オ アジト等突入用資機材の整備 (受傷事故防止資機材購入費) 3,337千円						
2 事業主体及び負担区分 (国5/10・県5/10) (県10/10)			(2) 事業計画						
			ア 被害水際防止作戦 ホットライン通報により、特殊詐欺抑止対策員を現場に派遣し、被害を水際で防止する。						
			イ 被害防止コール作戦により、被害に遭いにくい環境を醸成する。						
			ウ ネットワークカメラの拡充、デジタル情報解析の強化 カメラ捜査、デジタルデータの解析等により、特殊詐欺組織の実態を解明し、被疑者を早期に検挙する。						
			エ アジト等突入用資機材の整備 近年増加傾向にあるバリケード等で要塞化された組織的犯罪拠点 (アジト) を迅速に制圧し、被疑者を検挙するとともに、証拠隠滅を防止し、より多くの客観証拠を確保する。						
3 地方財政措置の状況 (区分) 警察費 (細目) 警察活動費 (細節) 一般活動費 (積算内容) 都道府県警察費補助金対象経費			(3) 事業効果 防犯への意識を向上し、高齢者が被害者となる特殊詐欺被害を抑止する。 被疑者を早期に検挙し、犯罪組織を壊滅させることで、特殊詐欺被害の拡大を抑止する。						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員なし									
			財 源 内 訳				一般財源	前年との対比	
予算額		国庫支出金							
決定額	126,958	53,456					73,502	△37,417	
前年額	164,375	65,298					99,077		